

表紙に使用している写真は
「和泉市のタカラモノを見つけ出せ!
チャレンジプロジェクト」に
認定されたタカラモノです



70周年特別記念事業
特設サイト



和泉市ホームページ



Instagram
[公式]和泉市おでかけガイド
@izumi_guide_osaka



Instagram
[公式]和泉市ええやん/広め隊
@izumi_hirometai



LINE
[公式]和泉市



LINE
和泉市いずみの国
観光おもてなし処

和泉市制施行70周年記念誌

編集・発行：和泉市

〒594-8501 大阪府和泉市府中町二丁目7番5号

T E L : 0725-41-1551 (代表)

F A X : 0725-45-9352



和泉市制施行 70周年記念誌

記念
スタンプラリー
開催!

70周年企画

和泉市のタカラモノを見つけ出せ!チャレンジプロジェクト

IZUMI HISTORY

市長 × 和泉市のタカラモノ(人間市室)

昔から今、そして輝くミライズミ クロストーク2026



70 years 輝くミライズミ



和泉市長 辻 宏康

和泉市は昭和31年9月1日に大阪府内23番目の市として誕生し、本年で市制施行70周年を迎えます。この間大規模な宅地開発や泉北高速鉄道、主要幹線道路などのインフラ整備が進み、大きく成長を遂げてきました。

とりわけこの10年間は、総合医療センターの開設をはじめ、市役所新庁舎や消防本部・和泉消防署といった市の拠点施設の整備を進め、教育環境では、2校の施設一体型義務教育学校(小中一貫校)が開校するなど、さらなる充実に取り組んできました。

これまでの和泉市の発展に多大な貢献をされた先人に深く敬意を表するとともに、市制施行70周年を新たなスタートと位置づけ、100周年の未来が輝かしいものとなるよう、気を引き締めて市政運営に取り組んでまいります。

この記念すべき年を市民の皆様とお祝いするとともに、未来へ向かって歩みを進めることができますよう、今後とも和泉市のさらなる発展にお力添えをお願い申し上げます。

◆ 歴代和泉市長

 よこたいそじ 初代 横田 礒治 昭和31年9月23日～ 昭和42年11月16日	 いけべつねお 二代 池田 恒雄 昭和42年12月3日～ 昭和46年12月2日	 ふじきひでお 三代 藤木 秀夫 昭和46年12月3日～ 昭和50年12月2日	 いけただだお 四代 池田 忠雄 昭和50年12月3日～ 平成7年12月2日	 いなだじゅんぞう 五代 稲田 順三 平成7年12月3日～ 平成17年5月26日	 いさかよしゆき 六代 井坂 善行 平成17年6月19日～ 平成21年6月18日
--	---	---	--	---	--

◆ 和泉市名誉市民

 よこたいそじ 横田 礒治氏 称号の贈呈日:昭和60年9月1日 初代和泉市長として3期11年にわたり市の発展に献身。八坂町・信太村の編入合併に尽力されたほか、教育、福祉、産業、都市整備など各般にわたる総合的な都市行政を着実に推進された。	 くぼ そうたろう 久保 惣太郎氏 称号の贈呈日:昭和60年9月1日 久保惣株式会社取締役社長として地場産業の振興に尽力。国宝等の美術品や土地、私財を市に寄付し、和泉市久保惣記念美術館の開館や文化財団の設立に貢献。和泉市の文化・芸術振興に尽力された。
 くぼつねひこ 久保 恒彦氏 称号の贈呈日:平成18年9月3日 パブリカ南海株式会社(現トヨタカローラ南海株式会社)代表取締役、久保惣株式会社取締役社長を歴任。美術館の新館寄贈など文化振興に貢献したほか、株式会社いずみコスモボリス代表取締役として現在のテクノステージ和泉の礎となる企業誘致に大きな功績を残された。	 いけただだお 池田 忠雄氏 称号の贈呈日:平成28年8月28日 市議会議員を3期10年、市長を5期20年務め、市民福祉の増進に献身。近畿市長会会長などの要職も歴任し、市政の振興と郷土社会の発展、地方自治の推進に尽力された。

積み重ねてきた70年の歩みを、これからの希望へ。
人とまちがともに輝く、未来の和泉へ進んでいきます。

本年、和泉市制施行70周年という輝かしい節目の年を迎えました。

和泉市は、先人たちのたゆまぬ努力の積み重ねにより、都市基盤の整備や産業の振興、子育て・教育環境の充実など、魅力あるまちづくりを着実に進め、今日では利便性と豊かな自然が調和した暮らしやすい都市として発展を遂げてまいりました。これまで市の発展にご尽力いただいた市民の皆様をはじめ、多くの先人の方々に深く敬意と感謝を申し上げます。

和泉市議会におきましても、市の発展と市民生活の向上に向けた政策提案や議会改革に積極的に取り組み、その成果として、早稲田大学による全国1788議会を対象とした議会改革度調査において全国3位という高い評価もいただきました。

今後も議会と執行機関は、市政の「両輪」として、市民の皆様の信頼と期待に応えるよう、より一層魅力あるまちづくりのため、議論を行ってまいりますので、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

和泉市議会議長 山本 秀明



◆ 和泉市議会議長歴代名簿

代位	氏 名	就任年月	退任年月	代位	氏 名	就任年月	退任年月	代位	氏 名	就任年月	退任年月
初代	森田 弥太郎	S31.10	S34.4	25代	横田 憲治郎	S53.10	S54.10	49代	須藤 洋之進	H14.10	H15.10
2代	上代 往永	S34.4	S34.10	26代	池辺 秀夫	S54.11	S55.9	50代	辻 正治	H15.10	H16.9
3代	上代 往永	S34.10	S35.9	27代	貝淵 博治	S55.10	S56.9	51代	森 悦造	H16.10	H17.9
4代	藤木 秀夫	S35.10	S36.10	28代	藤原 要馬	S56.10	S57.10	52代	田代 一男	H17.10	H18.9
5代	藤木 秀夫	S36.10	S37.5	29代	成田 秀益	S57.10	S58.9	53代	友田 博文	H18.10	H19.9
6代	横田 稔	S37.5	S37.10	30代	池辺 秀夫	S58.10	S59.9	54代	逢野 博之	H19.10	H20.9
7代	岡田 一郎	S37.10	S38.7	31代	柳瀬 美樹	S59.10	S60.10	55代	山本 秀明	H20.10	H21.9
8代	池治 一見	S38.7	S39.9	32代	田中 包治	S60.10	S61.10	56代	吉川 茂樹	H21.10	H22.10
9代	藤野 利三郎	S39.10	S40.10	33代	赤阪 和見	S61.10	S62.10	57代	小野林 治三夫	H22.10	H23.9
10代	藤原 義次	S40.10	S41.2	34代	池辺 秀夫	S62.10	S63.9	58代	着本 直幸	H23.10	H24.9
11代	池辺 秀夫	S41.2	S42.3	35代	田中 昭一	S63.10	H1.10	59代	服部 敏男	H24.10	H25.9
12代	池治 一見	S42.3	S42.11	36代	出原 平男	H1.10	H2.10	60代	友田 博文	H25.10	H26.9
13代	池田 忠雄	S42.12	S43.3	37代	穴瀬 克己	H2.10	H3.10	61代	辻本 孔久	H26.10	H27.9
14代	貝淵 博治	S43.4	S43.9	38代	柳瀬 美樹	H3.10	H4.9	62代	山本 秀明	H27.10	H28.9
15代	藤木 秀夫	S43.10	S44.10	39代	竹下 義章	H4.10	H5.10	63代	友田 博文	H28.10	H29.9
16代	藤原 要馬	S44.10	S45.10	40代	大谷 昌幸	H5.10	H6.10	64代	石原 日出子	H29.10	H30.9
17代	田中 幸一	S45.11	S46.10	41代	松尾 孝明	H6.10	H7.10	65代	杉本 淳	H30.10	R1.9
18代	貝淵 博治	S46.10	S47.9	42代	若浜 記久男	H7.10	H8.9	66代	吉川 茂樹	R1.10	R2.9
19代	松尾 千代一	S47.10	S48.10	43代	中塚 新治	H8.10	H9.10	67代	浜田 千秋	R2.10	R3.9
20代	坂上 國治	S48.10	S49.10	44代	西口 秀光	H9.10	H10.10	68代	森 久往	R3.10	R4.9
21代	池辺 秀夫	S49.10	S50.10	45代	讃岐 一太郎	H10.10	H11.10	69代	坂本 健治	R4.10	R5.9
22代	貝淵 博治	S50.11	S51.10	46代	井坂 善行	H11.10	H12.9	70代	石原 日出子	R5.10	R6.9
23代	坂上 國治	S51.10	S52.10	47代	天堀 博	H12.10	H13.10	71代	関戸 繁樹	R6.10	R7.9
24代	柳瀬 美樹	S52.10	S53.10	48代	柏 富久蔵	H13.10	H14.10	72代	山本 秀明	R7.10	

70周年へつながる10年のあゆみ IZUMI HISTORY

※市制施行60周年までの出来事は
60周年記念誌をご覧ください。



～2017-2026～

ホテルルートイン大阪和泉開業



市の誘致条例を
活用し、市内で初と
なる大型宿泊施設「ホテル
ルートイン大阪和泉」が開業する

南大阪初(当時)施設一体型義務教育学校
和泉市立南松尾はつが野学園が開校



和泉市立総合医療センター開院

市民グラウンド跡地に新病院が新築移転
市立病院の指定管理者であった医療法人
徳洲会が引き続き運営



改元

国府小学校に新元号を
祝う「令和」の人文字を制作



新型コロナパンデミック

新型コロナウイルス感染症が世界的
に流行(パンデミック)し、市では市民
へのワクチン接種や妊婦等へのマスク
配布事業などを実施



GIGAスクール

児童・生徒1人1台の学習者
用端末を活用した教育環
境を整備



こども医療費助成を
高校3年生まで拡充

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会

コロナ禍の影響で、東京オリンピック2020が
1年延期され開催。和泉市代表市民ランナー
が万博記念公園で聖火リレーを行う



2017 (平成29年)

国道480号鍋谷峠道路・
父鬼バイパス開通



総合スポーツセンター全面オープン



こども医療費助成(通院)を
中学3年生まで拡大

2018 (平成30年)

台風第21号

台風第21号の影響で、学校体育館の屋根が
吹き飛ばされたり、市内の多くの世帯で停電が
発生するなど甚大な被害を受ける



2019 (平成31年 令和元年)

小学校全普通教室に
空調整備



商工フェスタ&
農林業祭が和泉中央で
リニューアル開催



2020 (令和2年)

中央消防署が開署

池田分署と松尾出張所を統廃合し、
中部地域の市民の生命と健康を守る
拠点として機能が強化される



若年者在宅ターミナルケア
支援事業を開始

2021 (令和3年)

中学校等体育館空調整備完了

中学校及び義務教育学校の体育館空調整備が完了

市役所新庁舎棟が開庁



和泉中央駅前広場リニューアル



道の駅いずみ山愛の里がリニューアルオープン



市役所新庁舎がグランドオープン



新型コロナウイルス終息

新型コロナウイルス感染症がおおむね終息し、5月8日に第2類から第5類に変更される

ブルーミントンへ 市長公式訪問団を派遣

姉妹都市であるアメリカ・ミネソタ州ブルーミントン市に、姉妹都市締結30周年を記念して市長公式訪問団を派遣



AIオンデマンド交通を 運行開始



河野家住宅が国の 登録有形文化財 (建造物)に登録



セネガル共和国へ市長公式訪問団を派遣

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会でホームタウンになったことから交流がスタートしたセネガル共和国へ、市長公式訪問団を派遣



本市2校目となる施設一体型義務教育学校 和泉市立横尾学園が開校



市制施行70周年

和泉市制施行70周年を迎える

だんじり記念曳行

市制施行70周年を祝うため、市内35台の本格だんじりが和泉府中駅前に集結し記念曳行を行う



2022

(令和4年)

南部地域等移住定住 支援制度の開始

アグリセンターがオープン



ホテルルートイン 大阪和泉府中開業



2023

(令和5年)

学校水泳屋内プール活用事業

民間屋内プールを活用した学校水泳授業を市内11校にて本格実施



和泉市人事給与制度 改革実行プランの策定

2024

(令和6年)

信太山丘陵里山 自然公園の第1期 エリアオープン

南通市へ市長公式 訪問団を派遣

友好都市である中国・南通市に友好都市締結30周年を記念した相互訪問として、市長公式訪問団を派遣

消防本部・和泉消防署 が移転



2025

(令和7年)

いずみ保健・子育てプラザ(庁舎第1分館)に 保健センター・教育センター等が移転

2025大阪・関西万博にて 「2025大阪和泉市デー」を開催



都市宣言「明るく あいさつをするまち」を宣言

小学校体育館空調整備完了

交通アクセスに恵まれた立地により、迅速な消防・救命活動が可能になるとともに、大災害時の救命活動の拠点となる消防本部が新築移転される

2026

(令和8年)

2026-27年(令和8-9年)に 予定されるできごと

- 黒鳥山公園にイズミガーデンテラスオープン(カフェテラス・ドッグラン・BBQ)
- 和泉市立青少年の家リニューアル
- 施設一体型義務教育学校 和泉市立富秋学園開校
- いずみ国府こども園開園

市長×和泉市のタカラモノ(人間市宝) 昔から今、そして輝くミライズミ クロストーク 2026.

市制施行70周年記念プロジェクトで、「和泉市のタカラモノ(人間市宝)」として認定された株式会社国華園の岸脇氏と女子サッカーチーム・和泉テクノFCをお招きし、市長と、和泉市のこれまでと未来について話しました。



和泉テクノFC 副キャプテン
はら ちさと
原 智聖氏

和泉テクノFC キャプテン
わたなべ あやか
渡邊 彩海氏

和泉市長
つじ ひろあき
辻 宏康

株式会社国華園/日本菊花会副会長
きしわき じゅんすけ
岸脇 淳介氏

この数十年で進化した和泉市、70周年は新たな節目に

市長 この度、国華園を経営され、日本全国から優秀な作品が多数出展される日本菊花全国大会に長年携わり、世界各地の菊花会との交流も精力的に行われている岸脇淳介様と、和泉市で唯一の女子サッカークラブで和泉市ホームタウンチームである和泉テクノFCの渡邊彩海様と原智聖様をお招きし、和泉市のこれまでと未来を語る機会を設けさせていただきました。本日は、どうぞよろしくお願いいたします。

早速ですが、岸脇さんにお聞きします。国内での本格的な菊の品種改良は、現在9割以上が国華園で行われているそうですが、どのように取り組まれ、そうした実績をあげるに至ったのでしょうか。

岸脇 私どもの国華園は、祖父の代から菊の販売や品種改良をしております。来年、創業100周年を迎えます。菊の品種改良というのは、種から育て発芽させる実生を、品種によっては3年から長ければ10年にわたり時間をかけて育てるというもので、厳選しながら新しい品種を発表し続けています。手間と年数がかかるので、国内では殆どの同業者がやめてしまっているのが現状ですね。一方海外では盛んな国もあります。

市長 そうした地道な取り組みの継続の結果、立派な実績を残しているんですね。さらに皇室や内閣が表彰してくれるような規模の日本菊花全国大会の運営にも貢献されています。まさに日本の菊文

化を一身に背負っておられるようです。

渡邊 すごいことですね！私たちは、なでしこジャパンくらいにならないと、同じ席に座れないですよ(笑)

市長 和泉テクノFCも、是非、3年後くらいには「なでしこリーグ」に昇格していただきたいです！

さて、今年和泉市は市制施行70周年を迎えますが、合併前から和泉市をご存じの岸脇さんは、この数十年の和泉市の変化をどのように感じられていますか？

岸脇 私が生まれたのは、1町6か村が合併して和泉市ができる前で、横山村というところ。現在の横山地区にあたります。横山地区は関西国際空港の開港を機に大阪外環状線ができるなど変化がありました。今も昔の良き面影を残しています。

一方で最も変化したのは、和泉中央駅周辺ではないでしょうか。昔は中央丘陵と呼ばれた山林ばかりで、わずかに田畑があったところに、和泉中央駅が開業して電車が走るようになり、たくさんの住宅やマンション、ビルが建ち、また縦の交通インフラも生まれ、いろんな企業が入ってきました。

JR和泉府中駅周辺も劇的に生まれ変わりましたね。辻市長がずいぶんご尽力されたと思います。

市長 先人の方々が立ち上げた事業を引き継いで、ちょうど完成するタイミングで市長をさせていただいたもので(笑) 横山地区は、長

い歴史をもつ地区で、地域に影響力をもった、立派な先人をたくさん輩出しておられます。1町6か村が合併して和泉市が誕生する際にも、リーダーシップをとられた地区だと聞いていますよ。

一方、平成14年にまち開きの工業団地テクノステージ和泉を母体に活躍されているのが和泉テクノFCですね。メンバーの殆どが和泉市外から来られたそうですが、皆様の和泉市の印象はどのようなものでしょうか？

渡邊 住みやすいというのが第一印象です。和泉市に引っ越してきて、サッカーをするにも、生活をするにも困ることが本当になくて(笑) ほとんどの選手が市内に住んでいるのですが、プライベートでも和泉市から出ずに遊んでいるほど、まちが充実していると思います。

市長 ありがとうございます。和泉市では、現在、和泉市をさらに楽しんでもらえるような公園整備も進めています。ドッグランスペースやバーベキュー、カフェテラスの整備を進めている黒鳥山公園はこれからおすすめです。信太山丘陵里山自然公園もぜひ歩いていただきたいですね。広くて自然に満ちており、私も迷うくらいです(笑) 松尾寺公園にも大型遊具の整備や民間施設の誘致を検討しており、例えば、水族館なんかも面白いと思っています。できたら国華園さんにも、植物園をつくっていただいたらありがたいです(笑)

岸脇 我々も、菊だけでは市場規模が小さいですから、以前から植物全体を視野に入れた発想に変えています。植物で世界的に有名なオランダに行って、様々な新しい品種の球根を仕入れたりしましたね。どんどん発想を転換していくことは大切ですね。



スポーツ×企業、チームプレーで和泉市を盛り上げる

市長 和泉テクノFCには、チームとして市のPR大使も務めていただき、保育園へのサッカー訪問や子どもを対象にしたサッカースクールなどで地域に貢献いただいています。こうした取り組みのなかで感じる手応えを教えてください。

原 私はサッカースクールに月2回参加させていただいています。最初は男の子が多かったのですが、サッカーがやりたい、好きだと言ってくる女の子も増えてきて嬉しいなと思っています。怖がりながらも、果敢に立ち向かってくる、そんな女の子が多くて頼もしい



2027年に創業100周年を迎える「国華園」。観賞用大菊の品種中9割以上が「国華園」の育成品種で占められる。



テクノステージ和泉のさまざまな企業や職種から選手が集う。多様な背景を持ちながらも、高いチーム力を誇る。



菊花とサッカーチームは、和泉市の誇りと名誉

岸脇 今回、私をタカラモノ(人間市宝)に選んでいただきましたが、「和泉市でもやっと菊が認めてもらえた!」と思いました。また、横山地区にある横尾学園でも菊作りを課外活動に取り入れてくださった

と実感しています。

市長 こどもの頃から地域で活躍する選手とともにサッカーにふれあって、それが将来の可能性に繋がることを大いに期待します。また、日本人選手は才能あるスーパースターではなく、愚直に頑張って結果が実っていくタイプの選手が多いと思います。そういったサッカー文化を和泉市に作ってもらいたいと期待しています。

渡邊 育てないといけませんね！和泉市から未来のなでしこジャパンに選ばれるような選手を。

岸脇 和泉テクノFCの皆さんは日中お仕事もされているんですよね？夜にもサッカーをして、精神的、肉体的につらくはないですか。

渡邊 確かに日中は普通にお仕事をして、終わってから練習をしています。ただ、会社にもいろいろと配慮いただけてまして、環境もより良くなっていますし、サッカーができるだけありがたいです。そもそも女子サッカーは、それだけでは食べていけないスポーツで、社会人になっても続けられるかどうかという世界です。応援してくださっている和泉市の皆さん、企業の方々には大変感謝しています。

原 ありがたくて、不満なんか言ってられないです(笑)

岸脇 すごい、えらいなあ。ええ根性してますね。

市長 和泉テクノFCはユニークで、工業団地が母体となって結成されたチームとしては日本で初めてのことです。ですから、選手の方々は所属会社や仕事がバラバラなんですよ？

渡邊 そうですね、テクノステージ和泉には100以上の会社があって、私は医療産業系の企業に勤めています。

原 私は金属加工業の現場で働いています。

岸脇 我が国の商工業は本当に厳しい時代に入っています。その上で、一つの工業団地がまとまって、サッカーチームを育てているのは素晴らしいことだと思います。

市長 会社ごとに異なるルールや規定があると思いますが、練習時間のことや遠征の際など、企業間でも連携を取られていて、まさにチームプレイですね。

り、市長自身が菊作りをはじめられたと聞いて本当に嬉しくて。
市長 まったくの素人なんですけどね(笑) 菊は1本の苗から育てていくのですが、3本に別れていくように芽を切っていくんですね。最初は枯れるんじゃないかと切るのが怖くて(笑) 水を与えすぎないなど、甘やかすのも良くなって。人間と似ているなとも感じています。

原 菊については、お供え用とか、食用のものしか知らなくて、そんな繊細な育て方が必要であることを初めて聞きました。びっくりです。

渡邊 私も奥深さを感じました。私もお家で育ててみたいです。ぜひ教えてください。

市長 岸脇さんの菊に対しての想いやこだわりというのはどういったものでしょう。

岸脇 菊の花が一番美しいと感じるのは咲きかけの花が出てきた瞬間ですね。とはいえ人間というのはやはり競争の動物ですから。我々は自分の作った品種が各地の品評会でトップを取れるように、それを夢に描いて一生懸命追い求めています。それが面白いですね。

市長 日本を代表する品評会・日本菊花全国大会で、出品される菊の品種の9割以上が国華園で作出、命名されたものということは、和泉市にとって本当に誇らしいものです。

では和泉テクノFCのチームとしての特徴や大切にされていることはどのようなものでしょう？

渡邊 和泉テクノFCの特徴は、とても明るいことです。そして市長をはじめ市役所の方々や企業の方々試合の応援にかけつけてくれていて、チーム全員がとても温かさを感じています。だから皆さんの応援に答えて、絶対に試合に勝つんだ！という気持ちを大切にしています。

市長 市役所のなかでは、和泉市をホームタウンとする和泉テクノFCを応援できることはとても名誉なことだと話しています。私たちが必死になって応援して、チームに活躍していただく。このことでアピールする価値や存在感を発信して、市民にとって誇らしいチームに育ってほしいです。クラブチームというのは応援があって強くなるものだと思います。和泉市とチームの両方のブランド化をめざして、もっとサッカーができる環境を整えていきたいですね。



岸脇 日中は仕事をされ、夜にサッカーをするという非常に忙しい日常だと思いますが、どんなことでリフレッシュされているんですか？

渡邊 横尾山が大好きで、試合の次の日は体のリカバリーも兼ねて登っています。展望台からの眺めに癒されて、心がホッとする場所です。

原 私は服を見るのが好きで、ららぽーと和泉でお買い物をしてリフレッシュしています(笑)

岸脇 そうですか。勝ち上がればどんどん重圧も増えるでしょう？地方遠征などもあると思います。体は大丈夫なんかな？と、いつも心配していますよ。

渡邊 サッカーが好きな人が集まっていますので、練習がづらいといったことはなくて。サッカーが待っているから仕事も頑張れる、そういう考えで毎日を過ごしています。

原 みんなサッカーが好きすぎて、少しおかしいんです(笑)



ウォーカブルなまちづくりで、さらに人と人が繋がる都市へ

岸脇 和泉テクノFCが母体とするテクノステージ和泉ができた頃から、和泉市は急激に発展しましたよね。本当にガラッと変わりました。

団地に進出された企業も技術力と活気のあるところばかりですね。

市長 バブル経済崩壊後の不景気を克服して、なお発展していくことができた素晴らしい工業団地だと思っています。サッカーチームはその上に立つシンボルかもしれません。

岸脇 同感です。多くの方々の努力で逆境を跳ね返して成功した工業団地ですからね。工業団地としての一体感をつくるためにサッカーチームを設立するという発想も慧眼だと思います。

市長 テクノステージ和泉への企業進出は、和泉市の税基盤の充実にも貢献されています。そうしたなか、岸脇さんは、和泉商工会議所の会頭を15年間務められたご経験もあります。ご意見番として、これからの和泉市の商工業をどう見ておられますか？

岸脇 和泉市だけでなく日本経済全体に元気がなく、暗いムードに覆われています。でも、企業の皆さんには、世間の流れや声に惑わされず、企業ごとに独自の創意工夫と発想力で邁進してほしいですね。特にテクノステージ和泉の企業には、日本の製造業を牽引する気持ちで頑張ってもらいたい。

市長 和泉テクノFCは来年10周年を迎えます。これから先の活躍を確信していますが、目標はどのようなものなのでしょうか？

渡邊 やはり、まずは関西一部リーグ、最終的にはなでしこリーグへの昇格が私たちの夢です。先ほど、菊を育てるのに10年ぐらかかるものもあるとお話もありましたが、私たちもこの10年で培ってきたことを土台に、花を咲かせたいと思います。

原 私たちだけでなく、ほかのメンバーやスタッフ、市民の方々とも思いを共有して、全力で昇格をめざしたいですね。

渡邊 チームの存在をもっと知ってもらえるよう地域活動も含め頑張っていきたいです。私たちが勝ったり、負けたりすることで市民の皆さんに一喜一憂してもらえるような、そんなチームになりたいです。

岸脇 女性のたくましさを感じますね。女性が活躍するまちは必ず発展しますよ。国華園でも、女性社員には本当に頑張ってもらっていて、通信販売の商品の企画力や情報発信の仕方など大変優れています。おかげで会社の業績が上がっているのだから感謝しています。

最後に、市長のこれからの目標はどんなものですか。

市長 今、人と人が交流できる環境整備や仕組みづくりをしっかりとしていきたいと考えていまして、市内にモビリティ・ハブを設置して、自動車ではなく歩いて楽しめたり、健康にもなれる“ウォーカブルなまち”をめざしています。またスケボーができたり、BMXができたりする公園も整備を進めています。こうした特徴や目玉のある公園を発展させ、相互に繋ぐことで、いろいろな交流が生まれるまちにしていきたいですね。

渡邊 そんなまちになれば誰もが「住みたい、住み続けたいな」と思います。私たちも期待しています。

和泉市制施行
70周年
記念企画

和泉市のタカラモノ を見つけ出せ！ チャレンジプロジェクト

タカラモノプロジェクトとは、地域資源の魅力を市内外へ広く発信するとともに、市民の郷土愛を育み、和泉市の大切な「タカラモノ」を次世代へ継承していくことを目的とした取り組みです。「人・団体」「伝説・ロマン」「歴史遺産」「自然」「ロングセラー」「名建築・人気スポット」など、未来へ受け継いでいきたい地域資源や和泉市の魅力をPRできるものを、市民の皆さまから広く推薦いただき、その価値を再発見・発信していきます。



和泉市の 人・団体

文化やスポーツなど様々な分野で活躍し、和泉市の魅力を市内外へ発信し続ける主役たち。まちを豊かに彩る自慢の存在です。

とくていひえいりかつどうほうじん #01 特定非営利活動法人 いずみてくのえふしー 和泉テクノ FC

市内唯一の「和泉市ホームタウンチーム」である女子サッカークラブで、「いずみの国 和泉市PR大使」。地域企業の人材不足解消と地域活性化を目的に設立され、サッカーを機に毎年選手が和泉市へ移住・定着している。無料サッカー教室や部活動支援などの地域貢献、企業と連携した雇用創出など、スポーツを通じた地域づくりに尽力している。



きしわき じゅんすけ #02 岸脇 淳介 (日本菊花会副会長・理事長)

株式会社国華園代表取締役会長であり、和泉商工会議所名誉会頭。日本全国から優秀な作品が多数出展される日本菊花全国大会に長年携わり、運営に多大な貢献を行う。また国内にとどまらず、菊を通して世界各地との交流にも精力的で、和泉市民が世界に誇れる活動を担っている。



ふかがわ みゆき #03 深川 みゆき (いずみ太鼓 誠聖泉代表)

発足時から会を牽引し、活動を通じて青少年の健全育成や生涯学習の実践に尽力。地域イベントや海外公演など年間60回以上の公演を行い、世界中で和泉市のPRに精力的に取り組んでいる。平成25年には「いずみの国 和泉市PR大使」に就任。



かつらぎ まもる #04 葛城 衛 (模型飛行機エンジニア)

同氏が制作する模型飛行機は、国内最大の模型見本市「静岡ホビショー」などで極めて高い評価を得ている。エンジニアとしてオートフォーカス一眼レフカメラの開発に携わった経験に基づく、完成度の高い作品を多数生み出しており、和泉市民が誇れる人材である。



いさか ひろあき #05 井阪 浩明 (井阪硝子製作所)

ガラス細工の技法の一つである「ランプワーク(石油バーナー)」を用い、動物などをモチーフにした作品を制作できる数少ない職人の一人。伝統的なガラス玉制作にも取り組み、地場産業のPR活動の一環として、小学校からの依頼によるコラボ製品の制作なども行っている。多角的なアプローチで伝統的工芸の存続、伝承、発展に尽力している。



すがたに みつひろ #06 菅谷 光浩 (佐竹ガラス)

40年以上の長きにわたり、色ガラス棒の発色における高度な技術と真摯に向き合い、貴重な地場産業であるガラス工芸の伝統を守り続けてきた。その熟練の技とものづくりへの情熱は「和泉市が誇る地域の宝」であり、伝統技術の継承とまちの発展に大きく寄与している。





和泉市の 伝説・ロマン

長い歴史を有する和泉市には、古くから語り継がれる伝説が数多くあります。今もまちに息づく歴史のロマンが勢揃い！



くずのはでんせつ
#07 葛の葉伝説 (葛の葉町)

歌舞伎や浄瑠璃で有名な安倍晴明の誕生にまつわる物語。晴明の母とされる白狐の「葛の葉」が葛葉稲荷神社に祀られている。



いずみのうえじんじや
#08 泉井上神社 (府中町)

神功皇后がこの地を通りかかった際、一夜にして「和泉清水」が湧き出したとされ、「和泉」の国の名前の由来になったと伝えられる神社である。



こうみょういけ
#09 光明池

昭和初期に築造されたため池。この地域に古くから伝わる光明皇后の誕生伝説にちなんでその名が付けられた。



おぐりはんがん
#10 小栗判官

熊野に向かう小栗判官と照手姫が一休みした「笠かけ松」や「腰かけ石」などの伝承が伝わっており、街道の名称となっている。



おぐりかいどう
#11 小栗街道

平安時代以降、熊野三山へ詣でる参拝道として大いに栄えた。説教節のひとつ「小栗判官」にちなみ、小栗街道ともよばれ、市内には信太、平松、井ノ口の3つの王子があった。



ふるふじんじや・びゃっこばいし
#12 舊府神社・白狐化石 (尾井町)

延喜式にも名前が記された古い歴史のある神社。境内には伝説にまつわる白狐化石などが残されている。



こうじょのおてる
#13 孝女のお照 (坪井町)

坪井町に伝わる、親孝行な娘の物語の主人公。親を想うひたむきな姿が、地域の心温まる民話として現代に語り継がれる。



かみなりいど
#14 雷井戸 (桑原町)

桑原町の西福寺にある井戸。その昔、おばあさんが境内の井戸に雷を閉じ込めて地域を救ったというユニークな伝説が残る。



かがみいけ
#15 鏡池 (鶴山台)

葛の葉伝説では、白狐の化身、葛の葉姫の子別れの舞台となった池で、池のほとりには、信太の白きつねのモニュメントが建つ。



こうみょうこうごう
#16 光明皇后

聖武天皇のお妃である光明皇后が、和泉の地で誕生したという伝説が伝わっており、市内には光明の滝(国分町)や女鹿坂(室堂町)や照田・光田(室堂町)など伝説ゆかりの地がある。



和泉市の 歴史遺産

まちのあちこちに豊かな歴史が刻まれている和泉市。先人たちが残してくれた、魅力あふれる貴重な歴史遺産が数多くあります。

#17
どうぞうによらいりゅうどう
銅造如来立像 (まなび野)

万町にある天受院に受け継がれてきた飛鳥仏。市内最古の仏像として大変貴重であり、いずみの国歴史館で大切に保管されている。



まきおさんせふくじ・ぶつどう
#18 横尾山施福寺・仏像 (横尾山町)

豊臣秀頼により再建された本堂の中央には御本尊弥勒菩薩坐像、左手に西国三十三所札所の御本尊十一面千手観世音菩薩立像などが安置されており、その迫力に圧倒される。



すえきのおおぐめ
#19 須恵器の大甕 (まなび野)

古墳時代から平安時代にかけて和泉市では須恵器生産が盛んであり、谷山池周辺から見つかった大甕が、いずみの国歴史館のロビーで来館者を出迎える。



いけがみそねいせき
#20 池上曽根遺跡 (池上町)

全国屈指の弥生時代の環濠集落遺跡。国史跡に指定され、日本最大級の高床式建物や弥生時代の大井戸が復元されている。



たにやまいけ
#21 谷山池

1000年以上の長い歴史を持つため池で、鎌倉時代に東大寺再建に尽力したことで知られる俊乗坊重源が築造したという伝説が伝わる。



ひめづかこふんせきしつ
#22 姫塚古墳石室 (王子町)

姫塚古墳は信太山丘陵に展開する信太千塚古墳群のひとつであり、発掘調査で見つかった石室が、「葛の葉伝説」の舞台である信太の森鏡池史跡公園内に移築されている。



まるかさやまこふん
#23 丸笠山古墳 (伯太町)

4世紀末頃に築造されたとみられる前方後円墳。全長は100メートルほどで、市内最大規模を誇り、三方をめぐるため池は周濠の名残である。



いずみこがねづかこふん
#24 和泉黄金塚古墳 (上代町)

4世紀に築造された前方後円墳で国史跡に指定されている。卑弥呼が魏に使いを送った「景初三年」の年号が刻まれた銅鏡が出土したことで全国的に知られる。



こくがくはっしょうのちせきひ
#25 国学発祥之地石碑 (万町)

国学の祖である契沖が、およそ10年にわたり久井・万町に滞在し、学問の基礎を築いたことを記念して建てられた石碑である。

#26
けいちゅういあいのいど
契沖遺愛の井戸 (久井町)

国学の祖として知られる僧・契沖が、和泉市久井町に滞在していた際に愛用したと伝えられる、歴史的に貴重な井戸である。



#27
しのだやまぼんおどり
信太山盆踊り

泉州を代表する盆踊りとして知られ、戦前は踊り子数千人、見物人は3万人を数えたという。地域の伝統文化や人々の結びつきを今に伝える大切な祭り。



和泉市の 自然

豊かな緑に恵まれた和泉市に息づき、長きにわたり地域の暮らしを静かに守り続けてきた美しい山々や由緒ある名木たちです。



ぜんじゃくじのいぶき #28 禅寂寺の伊吹 (阪本町)

阪本町の禅寂寺にある伊吹の名木。歴史あるお寺の境内に堂々と佇み、豊かな緑で訪れる人々の心を穏やかに癒やしている。



みょうせんじのいぶき #29 妙泉寺の伊吹 (和気町)

和気町にある妙泉寺に根を下ろす伊吹の名木。地域の豊かな自然の象徴として、長きにわたり境内と市民を見守り続けている。



おのうとじんじやのくろがねもち #30 男乃宇刀神社のクロガネモチ (仏並町)

仏並町の男宇刀神社にあるクロガネモチの樹々。神社の歴史とともに歩んできた貴重な樹木であり、地域の緑を豊かに彩る。



かすがじんじやのしい #31 春日神社の椎 (三林町)

三林町の春日神社に佇む、歴史ある椎(シイ)の林。神聖な境内のなかで力強く根を張り、まちの豊かな自然を今に伝えている。



まつおでらのくすのき #32 松尾寺の楠 (松尾寺町)

松尾寺町の古刹に息づく楠(クスノキ)の名木。悠久の時を経て育まれた巨木であり、訪れる人々を圧倒する生命力に溢れる。



かんのんじのくすのき #33 観音寺の楠 (観音寺町)

観音寺町に息づく、立派な楠(クスノキ)の名木。青々と茂る大きな枝葉が美しく、地域の貴重な自然遺産として愛されている。



いずみしのやまやま #34 和泉市の山々

治水や地球温暖化対策、自然の多様性などの面で市民の生活環境を守っており、木材の「いずもく」を産出する豊かな山々である。



和泉市の ロングセラー

豊かな太陽の恵みや職人の伝統の技から生まれ、全国にその魅力を発信し続けている和泉市が誇るロングセラーです。



いずみかん #35 和泉みかん

今も昔も変わらず愛され続けている和泉市の特産品。農家が丹精込めて育てた美味しいみかんは、本市が誇る自慢の味である。



いずみもめん #36 和泉木綿

江戸時代から全国的にその名が知られている和泉木綿。長い歴史のなかで培われ、現代へと受け継がれてきた和泉市の伝統産業である。



和泉市の 名建築・人気スポット

和泉市最古の木造建築物から近代的な複合施設まで。まちの景観を生み出す名建築と、人々が集う人気スポットです。



いずみびりけん #37 和泉ビリケン (仏並町)

大阪・関西万博会場内で実施した「2025大阪和泉市デー」のチェーンソーアートショーにより誕生。地元の貴重な木材である「いずもく」を使用して制作された特別な縁起物。(道の駅いずみ山愛の里に設置)



ごうしょうじんじや #38 郷荘神社 (阪本町)

16世紀(室町・安土桃山時代)に造営された歴史ある社殿。和泉市内に現存する、最も古い貴重な木造建築物として知られている。

かわのてい #39 和野邸 (内田町)

伝統的な大和棟の主屋、立派な門や蔵が美しく並ぶ邸宅。松尾川沿いの趣深い景観と、歴史ある情緒豊かなまち並みを形成している。



いずみしくぼそうきねんびじゅつかん #40 和泉市久保惣記念美術館 (内田町)

国宝2点や重要文化財29点を収蔵する美術館。切妻屋根の建物、美しい茶室や庭園を有し、庭園と名品の鑑賞を同時に楽しめる美術館。



いずみしていぶらざ #41 和泉シティプラザ (いぶき野)

平成15年に開館し、市民生活や生涯学習を支える複合施設。優れたデザインや意欲的なコンセプトは、多くの建築賞に輝いている。



いずみふちゆうえきまえしょうてんがい #42 和泉府中駅前商店街 (府中町)

昭和40年に竣工した歴史ある駅前商店街。竣工当時は日本一の規模を誇り、最先端の技術が投入された先進的な防災建築である。今も、買い物と憩いの場所として、市民に愛されている。